

1 動名詞の基本用法

1-1 V-ing の識別—動名詞

(1) 正解②・⑤・⑦・⑧

解説:② collecting は be 動詞の後で補語、⑤ talking は enjoys の目的語、⑦ Learning は文の主語、⑧ studying は前置詞 in の目的語となる動名詞である。
① waiting と⑥ sleeping は名詞を修飾する現在分詞、③ Walking は分詞構文である。

2 動名詞の基本用法

2-1 主語になる動名詞

(2) 正解③:両親の世話をすることは、子どもの務めの一つである。

解説:文全体の主語として「両親の世話をすること」を表すため、動名詞 Taking を用いる。take care of A は「A の世話をする」の意味。

(3) 正解④:列車に乗ろうとして急ぐことは危険な場合がある。

解説:「列車に乗ろうとして急ぐこと」が文の主語なので、動名詞 Rushing が必要。rush to do は「急いで～する」の意味で、Rushing to catch a train となる。

2-2 目的語になる動名詞

(4) 正解②:私の兄は暇なときに SF 小説を読むことを楽しんでいる。

解説:enjoy は目的語に動名詞をとる動詞で、enjoy doing「～することを楽しむ」とする。したがって reading が正しい。

(5) 正解③:彼女は十分な情報を得るまで、その問題について話すことを避けた。

解説:avoid は目的語に動名詞をとる動詞で、avoid doing「～することを避ける」とする。したがって talking が正しい。

2-3 補語になる動名詞

(6) 正解②:放課後の私の好きな活動は、公園で友達とテニスをすることである。

解説:主語 My favorite activity の具体的内容を説明する補語として動名詞を用いる。したがって playing tennis が正しい。

(7) 正解③:病院での彼の主な責任の一つは、高齢の患者の世話をすることである。

解説: One of his main responsibilities の内容を説明する補語なので、動名詞 caring を用いる。care for A は「A の世話をする」の意味。

2-4 前置詞の目的語になる動名詞

(8) 正解③:多くの点で、オートバイに乗ることは車を運転することとはかなり異なる。

解説:from は前置詞なので、その後には名詞相当語句が必要。前置詞+動名詞の形で from driving a car とする。

(9) 正解①:もっと運動をすることによって、健康を改善することができる。

解説:by はここでは「～することによって」という手段を表す前置詞。前置詞の後なので動名詞 doing を用い、by doing ～となる。

(10) 正解③:彼はサッカーをすることが好きだ。

解説:be fond of A は「A が好きである」。of は前置詞なので、動詞を続ける場合は動名詞にして be fond of playing ～とする。

(11) 正解①:彼は誰にも見られずに部屋を出た。

解説:without は前置詞なので後ろには動名詞を置く。また「見られる」という受動関係なので、being+過去分詞の being seen とする。

(12) 正解③:彼女はいつも間違いをすることを恐れている。

解説:be afraid of A は「A を恐れる」。of

は前置詞なので、その後の動詞 make は動名詞 making にする。

3 動名詞の意味上の主語・完了動名詞・動名詞の否定

3-1 動名詞の意味上の主語

- (13) 正解④:母は私があまりにも怠け者であることに不平を言っている。

解説:動名詞 being の動作・状態の主体は I なので、動名詞の意味上の主語を所有格 my で表し、my being too lazy とする。

- (14) 正解①:その紳士は私がお金を受け取ることを強く主張した。

解説:insist on doing は「～することを主張する」。receiving の意味上の主語が「私」なので、所有格を用いて my receiving とする。

- (15) 正解③:トムと夕食を食べたとき、彼が食事中ずっと携帯電話で話していたので私は腹を立てた。

解説:at は前置詞なので talking という動名詞を続ける。「トムが話すこと」を表すため、動名詞の意味上の主語として所有格 his を置き、his talking とする。

- (16) 正解③:姉は私がその問題を自分で解くよう強く主張した。

解説:insist on doing「～することを主張する」の形。solving の意味上の主語が me なので、on my solving とする。

- (17) 正解③:A:この公園はどうですか。B:すばらしいです!こんな騒がしい街にこれほど静かな場所があるとは夢にも思いませんでした。

解説:dream of の of は前置詞なので動名詞を続ける。there be 構文を動名詞化すると there being ～ となり、「～が存

在すること」を表す。

- (18) 正解①:高価な贈り物を受け取るようアメリカ人に強く求めれば、たいていのアメリカ人は居心地の悪さを感じるだろう。

解説:insist on doing の形で、accepting の意味上の主語は they に相当する。したがって所有格 their+動名詞 accepting が適切。

- (19) 正解④:ベティのお母さんは、あなたが毎晩彼女に電話をすることについて不平を言わないのですか。

解説:about は前置詞なので動名詞 calling を用いる。calling の意味上の主語「あなた」は所有格で表し、your calling her up とする。

3-2 受動態の動名詞—being done

- (20) 正解③:私はそのように扱われることにはまったく慣れていない。

解説:be used to doing は「～することに慣れている」。さらに「扱われる」という受動関係なので、being+過去分詞を用いて being treated とする。

- (21) 正解①:合意に達する可能性はほとんどない。

解説:of は前置詞なので後ろには動名詞が必要。また agreement は「達する」のではなく「達せられる」ものなので、受動態の動名詞 being reached とする。

- (22) 正解①:私は彼からそのようなことをあんなに失礼な態度で言われるのが好きではない。

解説:「私が言う」のではなく「私が言われる」という受動関係である。したがって like の目的語には受動態の動名詞 being told を用いる。

3-3 動名詞・完了動名詞の否定

- (23) 正解④:私は電車の中でその老婦人に親

切にできなかったことを恥じている。

解説:「親切にできなかったこと」を表すため、完了動名詞 having been を否定する。動名詞の否定語 not は動名詞の直前に置くので、of not having been が正しい。

- (24) 正解②:彼は自分の主張をうまく伝えられなかったことを恥じていた。

解説:be ashamed of doing「～したことを恥じる」の形。「できない」は not able to なので、動名詞 being の前に not を置いて not being able to とする。

- (25) 正解①:その母親は、子どもたちが暗くなってから公園で遊ばないよう強く求めた。

解説:insist on doing の形で、her children が playing の意味上の主語。「遊ばないこと」なので、否定語 not を動名詞の直前に置いて not playing とする。

3-4 完了動名詞—having+過去分詞

- (26) 正解①:彼は報告書でそのような不注意な間違いをしたことを謝った。

解説:apologized より前に「間違いをした」ことを明確に表すため、完了動名詞 having+過去分詞を用いる。make の過去分詞は made なので having made となる。

- (27) 正解②:私は以前の先生にそのような失礼な手紙を書いたことを後悔している。

解説:「手紙を書いた」のは regret している時点より前なので、having+過去分詞を用いる。write—wrote—written なので having written が正しい。

- (28) 正解①:彼女はもっと早く両親に真実を話さなかったことを後悔した。

解説:「話さなかった」という過去の行為を表すので完了動名詞を用いる。完了動名詞の否定は not having+過去分詞の語順となり、not having told が正しい。

3-5 完了動名詞の意味上の主語—A + having done

- (29) 正解①:彼女は息子が最初の挑戦でその難しい試験に合格したことを誇りに思った。

解説:having passed は「合格したこと」を表す完了動名詞で、その意味上の主語が her son。したがって her son having passed ~となる。

3-6 受動態の完了動名詞—having been+過去分詞

- (30) 正解①:彼はそのような若さでチームの主将に選ばれたことを誇りに思っていた。

解説:「選ばれた」は受動態で、さらに proud に思う時点より前の出来事を表すため、having been+過去分詞を用いる。したがって having been chosen が正しい。

- (31) 正解②:彼女は以前の雇用主から不当に扱われたことについて不満を述べた。

解説:「扱われた」という受動関係で、complained より前の出来事を表すため、受動態の完了動名詞 having been treated を用いる。

4 that 節と動名詞の書き換え

4-1 be+形容詞を用いる書き換え

- (32) 正解②:私はあなたにそれほど迷惑をかけたことを申し訳なく思っている。

解説:be sorry for doing は「～したことを申し訳なく思う」。for は前置詞なので、cause を動名詞 causing にする。

- (33) 正解①:彼はそのようなひどいことをついたことを恥じていた。

解説:be ashamed of doing は「～したことを恥じる」。that 節の had told に対応して、先行する行為を表す完了動名詞 having told を用いる。

- (34) 正解②:彼女は息子がその大会で優勝したことを誇りに思った。

解説:that her son had won を動名詞句にすると、her son が意味上の主語、having won が完了動名詞となる。したがって her son having won とする。

- (35) 正解①:彼女は入学試験に合格できなかったことに失望した。

解説:had not passed に対応して否定の完了動名詞 not having passed を用いる。not は having の前に置く。

- (36) 正解②:彼はチームの主将に選ばれたことを誇りに思っていた。

解説:that he had been chosen を動名詞にすると、過去の受動を表す having been + 過去分詞となる。したがって having been chosen が正しい。

4-2 一般動詞を用いる書き換え

- (37) 正解①:彼女は若いころにあまりにも多くの時間を無駄にしたことを後悔している。

解説:regret doing は「～したことを後悔する」。that she wasted ～を動名詞句にして regrets wasting ～ とする。

- (38) 正解②:彼は以前どこかでその男性に会ったことを覚えていた。

解説:that he had met に対応し、remembered より前の行為を明確にするため完了動名詞 having met を用いる。

- (39) 正解③:私はトムが放課後に私のコンピューターを使うことを気にしない。

解説:mind は目的語に動名詞をとり、mind doing「～することを気にする」とする。Tom が using の意味上の主語なので Tom using ～となる。

- (40) 正解②:彼女は私たちがもっと早い列車に乗ることを提案した。

解説:suggest は suggest doing の形

をとる。動名詞 taking の意味上の主語を our で表し、suggest our taking ～ とする。

- (41) 正解③:難しい仕事を手伝ってくれたことを、私はあなたに感謝している。

解説:appreciate は目的語に動名詞をとることができる。helping の意味上の主語を所有格 your で示し、appreciate your helping me とする。

5 動名詞を用いた「…してもむだだ」の表現

- 5-1 It is no use [good] doing / What is the use of doing?

- (42) 正解①:彼らとこの問題について議論してもむだである。

解説:There is no point in doing は「～してもむだである」の意味。It is no use doing とほぼ同じ意味を表す。

- (43) 正解①:私をだまそうとしてもむだである。

解説:It is no use doing は「～してもむだである」を表す重要表現。use の後には動名詞 trying が続く。

- (44) 正解①:電話は不通だ。電話を使おうとしてもむだである。

解説:There is no use doing は「～してもむだである」。use の後には動名詞 trying を用いる。

- (45) 正解③:彼を説得しようとしてもむだである。

解説:It is no use doing の形なので、try は動名詞 trying にする。to 不定詞は用いない。

- (46) 正解①:そのことについて議論してもむだだ。彼は決して考えを変えないからだ。

解説:It is no use doing「～してもむだである」の定型表現。したがって no use arguing とする。

- (47) 正解②:A:もう一度彼を説得してみたらどうですか。B:誰の話も聞こうとしない彼と議論して何になるのですか。

解説:What is the use of doing? は「～して何になるのか」の意味。of は前置詞なので、後ろには動名詞 arguing を置く。

5-2 There is no point [sense] (in) doing

- (48) 正解③:そのような実りのない議論を続けても意味がない。

解説:There is no point in doing は「～しても意味がない／むだである」。したがって point in continuing とする。

- (49) 正解③:決して使わないのであれば、高価なパソコンを持っても意味がない。

解説:There is no point in doing の形をとる。したがって in having が正しい。

- (50) 正解③:決して弾かないのであれば、ピアノを持っても意味がない。

解説:There is no point in doing「～しても意味がない」の定型表現。in の後には動名詞 having を用いる。

- (51) 正解④:空いている席があるのに立っている意味はない。

解説:There is no sense in doing は「～しても意味がない」。no sense が適切である。

- (52) 正解③:写真撮影は禁止されているので、カメラを持って行っても意味がない。

解説:There is no point in doing が正しい形。It is no point とはしないので、there's no point in taking を選ぶ。

6 to の後に動名詞をとる表現

6-1 look forward to A / doing

- (53) 正解④:私は来週故郷へ帰る。そのとき友人たちに会うのを楽しみにしている。

解説:look forward to doing は「～することを楽しみにする」。to は前置詞なので、動名詞 seeing を続ける。

- (54) 正解①:夏休みが近づくとつれて、私は友人たちに会うのを楽しみにしている。

解説:look forward to doing の forward を問う問題。look forward to meeting ～で「～に会うのを楽しみにする」。

- (55) 正解④:A:東京旅行は楽しかったね。B:うん、最高だった。またいつかそこへ行くのを本当に楽しみにしているよ。

解説:look forward to doing の to は前置詞。したがって to going が正しい。

- (56) 正解④:彼はサマセットにある小さな別荘で彼女と週末を過ごすのを楽しみにしていた。

解説:look forward to の後には名詞または動名詞を置く。したがって to spending とする。

- (57) 正解②:夏休みが近づくとつれて、私は友人たちに会うのを楽しみにしている。

解説:look forward to doing の形なので、to meeting が正しい。to meet としない。

6-2 be used [accustomed] to A / doing

- (58) 正解①:私は緊張している。大勢の聴衆に向かって話すことに慣れていない。

解説:be used to doing は「～することに慣れている」。to は前置詞なので speaking を続け、to speaking とする。

- (59) 正解①:私は夜更かしすることに慣れている。

解説:be accustomed to doing は「～することに慣れている」。accustomed が正しい。

- (60) 正解②:彼女は正式な手紙を書くことに慣

れていない。

解説:be used to の to は前置詞なので、後ろには動名詞 writing を置く。

- (61) 正解④:A:この気候は気になりますか。
B:少しは。でも、しばらくすると暑いことにも慣れるものです。

解説:get used to doing は「～することに慣れる」。to は前置詞なので being を用い、to being hot とする。

- (62) 正解④:6 時に出発するのは構わない。私は早起きすることに慣れている。

解説:現在「慣れている」という意味なので be used to doing を用いる。used to do 「以前は～した」と区別する。

6-3 object to A / doing

- (63) 正解①:母は私が一人でその山に登ることに反対した。

解説:object to doing は「～することに反対する」。climbing の意味上の主語を所有格 my で表し、to my climbing とする。

- (64) 正解④:誰もその山に登ることに反対しなかった。

解説:object to の to は前置詞なので、後ろには動名詞 climbing を置く。

- (65) 正解③:彼女は私が夜遅くまで働くことに反対しなかった。

解説:object to doing の形で、working の意味上の主語を所有格 my で表す。したがって to my working が正しい。

- (66) 正解②:参加者たちは子どものように扱われることに反対した。

解説:「扱われる」という受動関係なので、being + 過去分詞を用いる。object to being treated となる。

- (67) 正解②:私はこのように扱われることに強く反対する。

解説:objection to の to も前置詞なので動名詞をとる。「扱われる」は受動なので to being treated とする。

- (68) 正解④:私は彼がこの電話で私用の電話をかけることに反対する。

解説:object to doing の形で、making の意味上の主語を所有格 his で示し、his making とする。

- (69) 正解①:私はそのように扱われることに反対する。

解説:object to being done で「～されることに反対する」。したがって to being treated が正しい。

6-4 when it comes to A / doing

- (70) 正解③:私はコンピューターを使うことはできるが、修理となると何も知らない。

解説:when it comes to doing は「～することとなると」。to は前置詞なので repairing を用いる。

- (71) 正解④:走ることとなると、ジョンは間違いなくクラスで一番だ。

解説:when it comes to doing の形なので、to running が正しい。

- (72) 正解③:家を買うこととなると、誰もが非常に慎重になる。

解説:when it comes to doing の to は前置詞なので、buying を動名詞にして to buying houses とする。

- (73) 正解②:中華料理を作ることとなると、私の夫は専門家だ。

解説:when it comes to の後には名詞または動名詞を置く。したがって to cooking が正しい。

6-5 What do you say to A / doing?

- (74) 正解④:日曜日にテニスをするのはどうですか。

解説:What do you say to doing? は

「～するのはどうですか」という提案表現。to は前置詞なので playing を用いる。

- (75) 正解④:ひと休みするのはどうですか。

解説:What do you say to doing? の形なので、to having a rest とする。

- (76) 正解③:コーヒーを一杯飲むのはどうですか。

解説:What do you say to doing? の to は前置詞。したがって to having が正しい。

- 6-6 devote / dedicate / commit A to V-ing

- (77) 正解④:彼らの時間の大部分は、おそらく食料を集めることに費やされた。

解説:devote A to doing は「A を～することにささげる」。受動態では A be devoted to doing となり、collecting を用いる。

- (78) 正解④:彼女は目の不自由な人々を助けることに人生をささげてきた。

解説:devote A to doing の形。to は前置詞なので、helping が正しい。

- (79) 正解②:彼女は人生の多くを子どもたちの権利を守ることにささげた。

解説:dedicate A to doing「A を～することにささげる」の形なので、protecting を用いる。

- (80) 正解②:その研究チームは、大気汚染を減らすよりよい方法を見つけることに専念している。

解説:be dedicated to doing は「～することに専念している」。to の後には動名詞 finding を置く。

- (81) 正解③:その会社は、より環境に優しい製品を開発することにかかなりの時間と資金を投入してきた。

解説:commit A to doing は「A を～す

ることに投入する」。したがって developing が正しい。

- (82) 正解②:その大学は、すべての学生に平等な教育機会を提供することに尽力している。

解説:be committed to doing は「～することに尽力している」。to は前置詞なので providing を用いる。

7 省略可能な in の後に動名詞をとる表現

7-1 have difficulty [trouble] (in) doing

- (83) 正解②:私は一人の生徒を別の生徒と見分けるのに少し苦労した。

解説:have difficulty (in) doing は「～するのに苦労する」。したがって in telling が正しい。

- (84) 正解②:私たちは彼の新しい家を見つけるのに大変苦労した。

解説:have difficulty doing の形なので trying を用いる。try to do「～しようとする」が続き、trying to find となる。

- (85) 正解③:人々はしばしば私の筆跡を読むのに大変苦労する。

解説:have trouble doing は「～するのに苦労する」。したがって trouble reading が正しい。

- (86) 正解①:初めのうち、人々があまりに速く話すと、私は彼らの言うことを理解するのに苦労した。

解説:have difficulty (in) doing の形なので、in understanding が正しい。

- (87) 正解③:リンダは16歳だったが、20歳で通るのに何の苦労もなかった。

解説:have no trouble doing は「苦労せずに～する」。したがって passing を用いる。

7-2 be busy (in) doing

- (88) 正解③:ロビンソン夫人は台所で娘の料理

を手伝うのに忙しかった。

解説:be busy (in) doing は「～するのに忙しい」。したがって helping が正しい。

(89) 正解③:私は次の試験の準備で忙しい。

解説:be busy doing の形なので preparing を用いる。

(90) 正解①:彼らは宿題をするのにとっても忙しいのですね。

解説:be busy doing「～するのに忙しい」の形なので doing が正しい。

(91) 正解②:その高校生たちは試験の準備で忙しい。

解説:be busy doing の形に **prepare for A「Aの準備をする」**を組み合わせ、preparing for とする。

(92) 正解④:私たちの宇宙はまだ若い、理論家たちはその最終的な運命を探究するのに忙しい。

解説:be busy doing の形なので、exploring が正しい。

(93) 正解①:彼女の母親は夕食を作るのに忙しかった。

解説:be busy (in) doing の in は省略できる。したがって busy cooking とする。

7-3 spend / waste A (in) doing

(94) 正解②:私は残りの夜を勉強して過ごすべきだが、むしろテレビでお気に入りの番組を見たい。

解説:spend + 時間 + doing は「時間を～して過ごす」。したがって studying が正しい。

(95) 正解②:自分では変えられないことを心配して時間を無駄にしてはいけない。

解説:waste + 時間 + doing は「～して時間を無駄にする」。したがって worrying を用いる。

8 前置詞 + 動名詞

8-1 on doing「～するとすぐに／～する際に」

(96) 正解②:駅に着くとすぐに、私は彼を見つけることができた。

解説:on doing は「～するとすぐに」を表し、as soon as S V と書き換えられる。したがって On arriving が正しい。

(97) 正解③:警察官を見るとすぐに、彼は逃げようとした。

解説:On seeing ～ で「～を見るとすぐに」。on の後には動名詞 seeing を置く。

(98) 正解①:その知らせを聞くと、彼女は静かにはほえんだ。

解説:On hearing the news は「その知らせを聞くとすぐに」の意味。

(99) 正解②:ドアのところに着くと、その少年は大きな音でドアをノックした。

解説:on doing「～するとすぐに」を用い、On arriving at the door とする。

8-2 in doing「～する際に／～する過程で」

(100) 正解④:決断を下そうとする際には、適切な優先順位の感覚を保つことが重要である。

解説:in doing は「～する際に／～する過程で」。したがって In trying が正しい。

(101) 正解②:毎日英語を使うことによって、英語力を向上させることができる。

解説:by doing は「～することによって」と手段・方法を表す。したがって by using が正しい。

(102) 正解③:物を捨てる代わりに再利用することによって、廃棄物の量を減らすことができる。

解説:手段を表す by doing を用いるため、by reusing が正しい。

8-3 without doing「～することなしに」

(103) 正解②:彼は誰にも別れを告げずに部屋を出た。

解説:without doing は「～することなしに／～せずに」。したがって without saying が正しい。

- (104) 正解②:父はすべての窓が閉まっていることを確認せずに外出することは決してない。

解説:without checking で「確認せずに」の意味を表す。

- 8-4 for doing「～したことで／～することに対して」

- (105) 正解②:私は難しい課題を手伝ってくれたことについて彼女に感謝した。

解説:thank A for doing は「～したことでAに感謝する」。したがって for helping が正しい。

- (106) 正解①:その生徒は試験中にスマートフォンを使ったことで罰せられた。

解説:punish A for doing は「～したことで A を罰する」。受動態では A be punished for doing となる。

- 8-5 from doing「～することから」

- (107) 正解②:すべての乗客は飛行中、携帯電話の使用を控えるよう求められている。

解説:refrain from doing は「～することを控える」。したがって from using が正しい。

- (108) 正解①:大雨のため、私たちは予定どおり野球の試合をすることができなかった。

解説:keep A from doing は「A が～するのを妨げる」。したがって from playing が正しい。

- 8-6 instead of doing「～する代わりに／～しないで」

- (109) 正解③:自分の間違いについて不平を言う代わりに、彼はそこから学ぼうとした。

解説:instead of doing は「～する代わりに」。of は前置詞なので complaining を用いる。

- (110) 正解②:彼は翌日の重要な試験の勉強をする代わりに、テレビを見て夜を過ごした。

解説:instead of doing「～する代わりに」の形なので、instead of studying となる。

9 動名詞を用いた慣用表現

9-1 There is no doing

- (111) 正解②:明日私たちに何が起こるかはわからない。

解説:There is no doing は「～することはできない」。There is no telling ～で「～はわからない」の意味になる。

- (112) 正解③:いつ地震が起こるかはわからない。

解説:It is impossible to tell ～は There is no telling ～ と書き換えられる。

- (113) 正解②:ジョンがいつ現れるかはわからない。

解説:There is no telling ～ は「～はわからない」という定型表現。

- (114) 正解①:将来何が起こるかはわからない。

解説:There is no doing の形を用い、There is no telling what ～ とする。

- (115) 正解③:彼らの口論がどれほど長く続くかはわからない。

解説:定型表現は There is no telling ～ なので、文頭には There が入る。

9-2 It goes without saying that S V

- (116) 正解②:言うまでもなく、空腹は最高のソースである。

解説:It goes without saying that S V は「～は言うまでもない」。Needless to say とほぼ同じ意味。

- (117) 正解①:ここは病院である。ペットが許可されていないのは言うまでもない。

解説:It goes without saying that ～

が「～は言うまでもない」を表す定型表現。

9-3 feel like doing

(118) 正解③:彼女は彼を泣きたい気持ちにさせるつもりではなかった。

解説:feel like doing は「～したい気がする」。したがって crying が正しい。

(119) 正解①:A:今日は何をしたいですか。B:ドライブに行きたい気分です。

解説:feel like doing の形なので、going を用いる。go for a drive は「ドライブに行く」。

(120) 正解④:今夜は早く寝たい気分だ。

解説:feel like doing の後には動名詞を置くので going が正しい。

(121) 正解④:少し頭痛がするので、今夜は外出する気がしない。

解説:feel like doing「～したい気がする」の feel を問う問題。don't feel like going out で「外出する気がしない」。

9-4 far from doing

(122) 正解③:その新しい政策は問題を解決するどころか、実際にはさらに複雑にしてみた。

解説:far from doing は「～するどころか／決して～ではない」。したがって from solving が正しい。

(123) 正解②:彼の説明は聴衆全員を満足させるにはほど遠いものだった。

解説:far from の from は前置詞なので、後ろには動名詞 satisfying を置く。

9-5 rather than doing

(124) 正解①:その問題について不平を言うよりも、実際の解決策を見つけることに注意を向けるべきだ。

解説:rather than doing は「～するよりもしろ」。ここでは complaining が適切。

(125) 正解①:政府は深刻化する問題に真剣に

対処するよりも、国民の懸念を無視し続けた。

解説:rather than の後に動名詞を置き、rather than addressing ～ とする。

9-6 in the event of A / doing

(126) 正解①:ジムが来ない場合には、私たちはほかの誰かを探さなければならない。

解説:in the event of A / doing は「Aの場合／～する場合」。Jim が coming の意味上の主語で、否定語 not は動名詞の前に置くため Jim not coming となる。

9-7 worth doing

(127) 正解②:この小説は読む価値がある。

解説:be worth doing は「～する価値がある」。能動形 doing で受動の意味を表すので reading とする。

(128) 正解②:この交響曲は本当の傑作だ。何度も繰り返して聴く価値があると思う。

解説:be worth doing の形なので listening を用いる。また listen は自動詞なので listen to とする。

(129) 正解③:そのプロジェクトの推定費用は検討する価値がある。

解説:It is worth doing の形なので considering が正しい。

9-8 come near doing

(130) 正解③:彼女は母親を見て、危うく泣きそうになった。

解説:come near (to) doing は「もう少しで～するところである」。to がある場合も前置詞なので crying を用いる。

(131) 正解①:ジョンは昨夜、危うくトラックにひかれるところだった。

解説:come near doing に加えて「ひかれる」という受動関係なので、being+過去分詞を用いて being run over とする。

9-9 come close to doing

(132) 正解②:その登山者は突然の吹雪で危う

く命を落とすところだった。

解説: come close to doing は「もう少しで～するところである」。to は前置詞なので losing を用いる。

- (133) 正解①: その会社は最大の顧客を失った後、危うく倒産するところだった。

解説: come close to doing の形なので to going が正しい。go bankrupt は「倒産する」の意味。

9-10 How about / What about + V-ing

- (134) 正解①: 歩く代わりに、駅までタクシーに乗るのはどうですか。

解説: How about doing? は「～するのはどうですか」。about は前置詞なので taking を用いる。

- (135) 正解③: 決断する前に、その問題について先生と話し合うのはどうですか。

解説: What about doing? 「～するのはどうですか」の形なので about discussing が正しい。

- (136) 正解①: 最終決定をする前に、しばらく待つのはどうですか。

解説: How about doing? の形なので about waiting とする。

- (137) 正解③: 大学を選ぶ前に、両親に助言を求めるのはどうですか。

解説: What about doing? の about は前置詞なので、動名詞 asking を続ける。

10 V+動名詞

10-1 need doing「～される必要がある」

- (138) 正解②: 私の作業着は洗う必要があるが、今は洗濯する時間がない。

解説: need doing は「～される必要がある」で、need to be done と同じ意味を表す。したがって washing が正しい。

- (139) 正解③: エンジンの調子がおかしい。修

理する必要があるようだ。

解説: need doing = need to be done. エンジン「修理する」のではなく「修理される」ので needs repairing とする。

10-2 want doing「～される必要がある」

- (140) 正解②: 台所の床は、今晚客が到着する前に掃除する必要がある。

解説: want doing は「～される必要がある」で、want to be done と同じ意味。したがって wants cleaning とする。

- (141) 正解④: この古い時計は、再び使えるようになる前に修理する必要がある。

解説: want doing = want to be done なので、wants repairing が正しい。

10-3 deserve doing「～される価値がある／～されて当然である」

- (142) 正解②: 最終決定を下す前に、彼の提案はもっと慎重に検討する価値がある。

解説: deserve doing は「～される価値がある／～されて当然である」。doing の形で受動の意味を表すため considering とする。

- (143) 正解③: この問題は地域社会の全員に影響するので、より詳しく議論する価値がある。

解説: deserve doing の形なので discussing を用いる。「議論される価値がある」という受動の意味になる。

11 動名詞と不定詞・類似表現の識別

11-1 be used to V-ing / be used to V / used to V

- (144) 正解②: 彼女は最初、都会生活を難しいと感じたが、今では混雑した地域で暮らすことに慣れている。

解説: be used to V-ing は「V することに慣れている」。この to は前置詞なので、to living が正しい。

(145) 正解③:この小さな装置は、タンク内の水の量を測定するために使われる。

解説:be used to V は「V するために使われる」。ここでの to は不定詞なので、動詞の原形 measure を続ける。

(146) 正解②:私の祖父は若いころ、毎朝歩いて仕事に行ったものだった。

解説:used to V は「以前はよく V した／以前は V だった」。したがって used to walk とする。*be used to V-ing「V することに慣れている」*との区別が重要。

(147) 正解③:すでに起こってしまったことを心配してもむだである。

解説:There is no use doing は「～してもむだである」。したがって worrying が正しい。

11-2 like V-ing / like to V / feel like V-ing

(148) 正解②:私の姉は寝る前に英語の小説を読むのが好きだ。

解説:like to V は「～するのが好きだ」を表す。選択肢では to read が正しい。なお、like V-ing も「～することが好きだ」を表すが、この問題では reading が選択肢にない。

(149) 正解③:水泳やジョギングのような活動は、健康を維持するよい方法である。

解説:ここでの like は前置詞「～のような」。前置詞の後には名詞相当語句が必要なので、動名詞 swimming を用いる。

(150) 正解③:私はかなり疲れているので、今夜は外出する気がしない。

解説:feel like V-ing は「V したい気がする」。否定形 don't feel like going で「行く気がしない」となる。